

ほっかいどう

広報紙

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.



2020.4.24
民族共生象徴空間
オープン



当たる
道産品
裏表紙をチェック! >>>

2019年
8月号
令和元年7月発行
通巻230号

鈴木道政スタート

新しい発想で、地域の皆さまと共に
活力に満ちた北海道の実現に向けて
全力で取り組んでいきます。

北海道知事

鈴木直道



道民の皆さまへ、鈴木直道知事からのメッセージ

北海道知事として道政を担わせていただくことになりました鈴木直道です。将来にわたって活力に満ちた北海道を実現するため、全力で取り組んでまいります。

道政運営に当たる3つの基本姿勢



本道の持続的な発展には、前例にとらわれない新たな発想と行動が必要です。道民の皆さまと力を合わせて、アジアを中心に人気が高まる食や観光など、世界においても特別な輝きを放つ本道の価値を最大限発揮すれば、新たな時代に躍動する北海道を実現していくことができると確信しています。

道政運営に当たっては、3つの方針を基本として、地域と一体となって進めていきます。

1つ目は「ピンチをチャンスに変える道政」です。

人口減少対策・地域創生といった課題は、道内のみならず、多くの地域が直面している問題であり、北海道が、先んじてこうした状況を克服し、これからの時代のあるべき姿を示すことは、本道の可能性を一層広げていくものと考えます。

北海道を応援して下さる多くの方々と一緒に、逆境を乗り越える大きなうねりを創り出し、「ピンチをチャンスに変える道政」を進めます。

2つ目は「新たな発想で攻める道政」です。

情報技術の革新や国際化の進展など、社会情勢の大きな変化に適応し、持続可能な北海道を築いていくためには、常に時代の先を意識した政策を立案し、勇気を持って大胆に展開していかなければなりません。

これまでにない柔軟な発想を積極的に取り込み、政策を実現する力を高め、「新たな発想で攻める道政」に取り組めます。

3つ目は「地域とともに考え、行動する道政」です。

豊かな自然環境や世界に誇る食といった本道の多様な魅力は、地域の皆さまによって生み出されたものです。広大な本道では、地域の状況や課題もさまざま

であり、一つ一つの市町村の実情を踏まえ、市町村の皆さまと一体となって、地域の潜在力を発揮させ、「地域とともに考え、行動する道政」を展開します。

政策展開における3つの「挑戦」

活力に満ちた北海道を築いていくに当たって、本道の可能性を発揮させるため、3つの分野における「挑戦」を基本とし、政策を展開していきます。

1つ目は「豊かな地域づくりへの挑戦」です。

本道の自然環境や食、文化などの優位性に魅力を感じ、愛着を持ってくださるの方々による「ほっかいどう応援団会議」を新たに結成し、道や市町村が取り組む地域創生プロジェクトなどの情報を一元的に発信して、多くの方々から支援をいただき、その推進を図ります。

また、移住・定住の推進や、さまざまな形で本道と関わってくださる「関係人口」の拡大に向け、取り組みを進めます。

さらに、医療・福祉の充実、児童虐待の防止に向けて関係機関と連携した地域の見守り機能の充実、持



続的な鉄道網の確立、胆振東部地震災害からの復旧・復興や社会資本の整備など、安全・安心で強靱な北海道づくりに取り組みます。



北方領土問題については、関係団体の方々と一緒に、一日も早い返還の実現に向け、強く国に働きかけていきます。

2つ目は「確かな未来づくりへの挑戦」です。

多様な分野と地域でリーダーとなる人材を生む場づくりの検討を進めるとともに、世界での活躍や新たな価値の創出を目指す若者の成長と飛躍を、民間企業などとの協働により支援します。

また、農林水産業の新規就業者の拡大・定着を支援するとともに、林業を担う人材の育成に向けた「北の森づくり専門学院」の開校準備や、外国人の方々が

地域で安心して働き、暮らすことができる環境の整備などを進めます。

アイヌの人たちを「先住民族」と位置付ける法律の制定を踏まえた総合的なアイヌ政策の推進や、2020年4月のウポポイ（民族共生象徴空間）開設に向けた積極的なPRなどに取り組めます。

3つ目は「活力ある産業づくりへの挑戦」です。



中国やASEAN、ロシアなどとの交流を促進しながら販路拡大や投資の呼び込みに努めるとともに、道産食品のブランド化を促進します。

観光については、本年開催されるラグビーワールドカップやG20観光大臣会合における情報発信など積極的な誘客の取り組みを展開します。

また、農林水産業の持続的な発展に向けた体質強化や付加価値の向上、ロケット打ち上げなど宇宙産業の育成支援や自動走行実証実験の誘致、中小企業・小規模事業者の生産性向上や経営体質の強化、新エネルギーの導入拡大などに取り組めます。

道政推進の基盤づくり

道と市町村が地域の課題について率直に意見を交わし、地域創生に向けたプロジェクトを一体となって推進するなど市町村とのスクラム強化を図るとともに、行財政改革や政策実現力の強化などに取り組み、政策推進のための骨太で筋肉質な道の体制づくりを進めていきます。

道内各地を訪れて、道民の皆さまにお会いし、さまざまな課題、そして地域の未来について意見交換をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

鈴木直道知事プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身（本籍は北海道夕張市）。東京都庁入庁。夕張市に派遣。内閣府地域主権戦略室に出向し、夕張市行政参与。東京都庁を退職し、2011～2019年夕張市長。

特集 クイズ
これは何のマーク？



答えは中面下に

アイヌが歩む。アイヌと歩む。 ウポポイ(民族共生象徴空間)が 2020年4月24日、白老町にオープン。

古くからアイヌ民族のコタン(集落)があったことで知られる白老町ポロト湖畔に、2020年4月24日、アイヌ文化の復興などに関するナショナルセンター「ウポポイ(民族共生象徴空間)」が誕生します。ウポポイは、アイヌの歴史や文化について多くの皆さんに幅広く理解を深めてもらい、アイヌ文化の復興と発展につなげるための拠点です。



アイヌの伝統芸能とチセ(家)のイメージ写真

アイヌの人々は、独自の言語や文化を持つわが国の先住民族です。

政府は、衆参両院による「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議(平成20年)」および「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告(平成21年)」を踏まえ、内閣官房長官が座長を務めるアイヌ政策推進会議のもと、アイヌの人々の意見を聴きながら、アイヌ政策を推進しています。

こうした背景を踏まえて誕生する「ウポポイ」は、わが国が将来に向けて、先住民族の尊厳を尊重し、差別のない多様で豊かな文化を持つ活

力ある社会を築いていくための象徴として整備されるものです。

白老町にあるウポポイには、アイヌの歴史や文化をさまざまな視点からわかりやすく紹介する「国立アイヌ民族博物館」と、アイヌ文化を五感で体感できる「国立民族共生公園」のほか、ポロト湖東側の高台に「慰霊施設」が整備されます。

道ではウポポイへ多くの方々にお越しいただくため、道内外でPRイベントを実施しています。また、ウポポイの開設により大きな経済効果が期待されており、さらなる道内経済の活性化を図るため、行政や経済団体、企業などで構成する「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」では、機運の醸成に向けたさまざまな取り組みが行われています。



昨年、道内外で開催したPRイベント



この施設をより身近に親しんでもらうため、アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味する愛称「ウポポイ」が昨年、全国投票で選ばれ、あわせてロゴマークも公表されました。

ウポポイの主な施設



国立アイヌ民族博物館

先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館です。国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を広め、新たなアイヌ文化の創造と発展に寄与するための施設です。伝統的なアイヌ文化だけでなく、現代に息づく多様なアイヌ文化とそれに関わる人々をさまざまな視点から紹介します。言葉や暮らし、歴史など6つのテーマ展示と、それらの代表的な資料を一堂に



国立アイヌ民族博物館(完成予想図)提供:文化庁

集めた「プラザ展示」、体験キットなどを使ってアイヌ文化を体感的に学ぶことができる「子ども展示」などから構成されます。

みんなの

赤れんが

お問い合わせは
▶マークの窓口、またはホームページへ。

7月17日は 「北海道みんなの日」

松浦武四郎が明治政府に「北加伊道」という名称を提案した7月17日は、「北海道みんなの日」(愛称:道みんの日)です。

北海道に暮らす皆さんが、本道のこれまでの歴史や文化、風土を見つめ直し、価値を再認識して、より豊かな北海道を築いていくこと、また、道外から本道を訪れる人、北海道にゆかりのある人に、本道の魅力を発信する機会となることを目的に制定されたものです。

「北海道みんなの日」には、道内各地の道立施設などで、常設展示の観覧料や入場料などが無料や割引になるほか、各種記念イベントなども開催されます。ぜひお越しください。



道みんの日チラシ

携帯サイト
※7月17日の前後に実施、開催されるものもあります。詳しくはこちらをご覧ください。
北海道みんなの日 検索
▶道庁政策局参事 ☎(011)204-5106

消費者トラブルにご注意を

訪問販売や電話勧誘、マルチ商法などで強引な勧誘を受ける悪質商法や架空請求詐欺、インターネットの通信販売などによる「消費者トラブル」が増加しています。特に、若者や高齢者は注意が必要です。

勧誘を受けても必要のないときは、はっきりと断りましょう。困ったときや不安なときは、一人で悩まずすぐにご相談ください。

▶道立消費生活センター ☎(050)7505-0999
▶消費者ホットライン ☎188(全国共通)



消費者庁イラスト集より

後期高齢者医療制度の 保険料軽減特例が 見直されます

世代間の公平の観点から、今年度、後期高齢者医療保険料の均等割の軽減率が見直され、これまで保険料均等割が9割減だった方は、8割減に変わります。順次お住まいの市町村から保険料決定通知書を発送しています。ご不明の点は各市町村、北海道後期高齢者医療広域連合にお問い合わせください。

2018年度	2019年度
9割軽減 (月平均417円納付) 保険料の納付額(1割)	8割軽減 (月平均833円納付) 保険料の納付額(2割)
▶北海道後期高齢者医療広域連合 ☎(011)290-5601	

冊子「もっと知りたい! 統合型リゾート(IR)」を 作成しました

最近、IR(統合型リゾート)という言葉が新聞やテレビでよく耳にしますが、「そもそもIRって何?」という疑問を持っている人、また、「IR=カジノ」といった認識から、不安を抱えている人もいるのではないのでしょうか。

現在、道では、IRの誘致について検討していますが、この機会に、道民の皆さんにもIRについての理解を深めてもらうことが大切と考え、Q&A形式の啓発冊子「もっと知りたい!統合型リゾート(IR)」を作成しました。

冊子は道観光局のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

北海道 統合型リゾート 検索
▶道庁観光局 ☎(011)204-5305

「道民の森」へ遊びに行こう

「道民の森」(当別町・月形町)では、森林学習センターやコテージなどの宿泊施設、キャンプ場、木工芸館などを備え、森林散策やバーベキュー、木工・陶芸・クラフトづくりなどが楽しめます。

夏休みの思い出づくりや自由研究などに、ぜひお越しください。詳しくはホームページ、または電話でお問い合わせください。

道民の森 検索
▶指定管理者:
(一財)北海道森林整備公社道民の森管理事務所
☎(0133)22-3911



木工・クラフトづくり

薬物、ダメ。ゼッタイ。 薬物乱用を防止しよう

覚醒剤や大麻など薬物の乱用は自分の将来を台無しにするだけではなく、家族や恋人など大切な人も不幸にします。

もし、薬物の使用を誘われたら、まずはきっぱりと断ることが何より大事です。断りづらくなったときには、とにかくその場を離れましょう。

大麻に関する正しい情報をお知らせする警察庁のサイトがオープンしました。ぜひご覧ください。

大麻対策のためのポータルサイト 検索



▶道警本部薬物銃器対策課 ☎(011)251-0110

米トレーサビリティ法を ご存じですか

「米トレーサビリティ法」では、米や米加工品で食品事故などの問題が発生した場合などに、流通ルートを手早く特定するため、取引などの記録の作成・保存や、産地情報の伝達を事業者が義務付けています。

- 記録:品名、産地、数量、年月日、取引先名、搬出入の場所など
- 伝達:事業者間及び一般消費者への産地情報

米トレーサビリティ法の情報は、下記ホームページをご覧ください。

道庁 米トレーサビリティ法 検索
農林水産省 米トレーサビリティ法 検索
▶道庁農産振興課 ☎(011)204-5982

な文化が息づく北海道を実現していきましょう。

▶特集に関するお問い合わせ
道庁アイヌ政策課

☎(011)204-5185 [ウポポイ](#) [検索](#)



ウポポイ(完成予想図)提供:文化庁

五感をフルに使う アイヌ文化を体感してみませんか。

皆さん、イランカラフテ!※私は、ウポポイの中の国立アイヌ民族博物館の運営準備を担当しています。これまでは、アイヌの伝統的な歌や踊りも伝えられる学芸員として、アイヌ文化の普及活動に取り組んできました。現在は、博物館内のアイヌ民族資料の保存・管理と、道内の博物館の資料調査を主な業務としており、アイヌの歴史や文化をより深く知るほど、毎日のように新たな学びや発見があります。

世代や国籍に関係なく、皆さんの五感をフルに使う「アイヌ」を知っていただきたいという思いのもと、2020年の開設に向けて準備を進めています。アイヌの歴史や文化に関してさまざまな分野を取り上げるので、ウポポイへ来てくださる方たちの興味・関心を引くものが必ずあるはずです。

皆さんと一緒にアイヌ文化を体感し、共に創り上げていくような“成長型空間”を目指して、多くの方々に愛される施設にしていきたいと思っています。ぜひ、ウポポイへお越しください。



公益財団法人
アイヌ民族文化財団
民族共生象徴空間運営本部
博物館運営準備室
学芸主査

八幡 巴絵さん

※イランカラフテ/
アイヌ語の「こんにちは」

国立民族共生公園

アイヌ古式舞踊の公演や多様な体験プログラムを通じて、アイヌ文化を体感することができるフィールドミュージアムです。この施設では、食材の加工や調理体験などを通じて、アイヌの食文化の奥深さを味わうことができるほか、アイヌが伝承してきた木彫りや刺しゅうによる文様の製作体験、アイヌの子どもたちが楽しんだ遊びを体験することができます。また、公園内の原始性に富んだ豊かな植生を通じてアイヌの自然観に触れるなど、先住民族アイヌの文化を五感で感じることができます。



アイヌ古式舞踊

●大学が保管するアイヌ遺骨等の 出土地域への返還手続を実施中です

文部科学省では、大学が保管するアイヌの人々のご遺骨等を発掘・発見された地域へ返還するため、札幌市に「アイヌ遺骨等地域返還連絡室」を開設し、アイヌ関係団体が返還を希望する場合の手続を郵送、Eメール、ファクスなどにより受け付けています。

申請受付期間:2019年4月26日~10月25日

※手続の詳細については、文部科学省ホームページをご覧ください。

文部科学省 アイヌ遺骨 返還 [検索](#)

▶お問い合わせ

文部科学省アイヌ遺骨等地域返還連絡室
札幌市中央区北1条西2丁目11-1 23山京ビル902
☎(011)330-8314・8315 FAX(011)330-8316
Eメール:chiikihenkan@mext.go.jp

●アイヌ民族への理解を深めるために

道では、道民の皆さんにアイヌ文化への理解を深めていただくための小冊子「アイヌ民族を理解するために」を作成し、希望者に配布しています(送料は着払いとなります)。



アイヌ民族を理解するために

また、下のQRコードにアクセスすると、ダウンロードができます。身近な学びのきっかけにお役立てください。

携帯サイト



[検索](#)

復旧・復興レポート

昨年9月に発生した胆振東部地震の被災地の復旧・復興に向けた主な取り組みを紹介します。



被災地での復興のシンボルや拠点づくりが活発

■「むかわ竜」のレプリカが完成!

むかわ町では、「むかわ竜」(穂別産)のレプリカ(全身復元骨格)を製作。東京で開催中の「恐竜博2019」(10/14まで)で展示しています。

■新たな「道の駅」が誕生!

安平町に「道の駅あびらD51ステーション」がオープン。D51型蒸気機関車の展示や直売所などの施設が備わっています。

復旧・復興に向けた道の取り組みや進捗はこちら ※ロードマップは毎月更新。

胆振東部地震 ロードマップ [検索](#) ▶道庁胆振東部地震災害復興支援室 ☎(011)204-5795



お知らせ 道議会

定例会の概要などをお伝えします。

令和元年第1回臨時会(5/16~22)

■臨時会の概要

議長と副議長の選挙、特別委員会の設置、議会運営委員会・常任委員会・特別委員会の委員選任が行われました。



議長
村田 憲俊

副議長
高橋 亨

☆議長に後志地域選出の村田憲俊議員(自民党・道民会議)、副議長に函館市選出の高橋亨議員(民主・道民連合)が選ばれました。

☆委員会名簿は議会ホームページにて公開しております。

携帯サイト



■主な議決の状況

◎知事提出案件 4件

●条例案1件 北海道税条例の一部を改正する条例案

●その他3件 北海道副知事の選任につき同意を求める件 など

◎議員提出案件 8件

●決議案8件 「日露両国における友好交流の一層の推進と相互の信頼関係に基づく外交交渉の推進に関する決議」 など

平成31年第1回定例会(2/15~3/6)

■定例会の概要

本年は、知事及び道議会議員の改選期にあたることから、知事から道政運営の基本となる経費を中心に、いわゆる骨格予算として編成された平成31年度予算並びに平成30年度補正予算等の案件106件の提案があり、議決されました。

また、道議会議員の定数変更に伴う文教委員会の定数変更(12→11人)に関する条例案1件や、規則案1件、意見案2件について、原案のとおり可決されました。

■主な議決の状況

◎知事提出案件 106件

●予算案34件/条例案58件/その他14件

◎議員提出案件 4件

●条例案1件/規則案1件/意見案2件

「精神障がい者も含めた医療制度の創設を求める意見書」 など



道議会図書室&道立図書館連携展示 年表で ふりかえる 道議会の歩み

「道民の日」にちなみ、道議会の歴史を年表や写真で紹介!北海道に関連する書籍も展示しています。

- 展示期間 7月31日まで(平日のみ)
- 展示時間 8:45~17:30

~ホームページをご覧ください~

議会中継・録画、議会の日程、会議録、傍聴・見学案内、議会時報などをご覧ください。

北海道議会 [検索](#)

質問などの詳細は、冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。各振興局等での閲覧のほか希望者への配布もしますので、下記電話番号にご連絡ください。

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

いきいき 地域 から

総合振興局・振興局の話題をお届けします。



空知総合振興局

特産品が当たる! 空知スタンプラリー2019

農産物やワイン、お酒などの生産が盛んな空知では、現在、管内全24市町を巡る「空知スタンプラリー2019」を10月31

日まで開催中。専用サイト「そらち・デ・ビュー」からダウンロード・印刷した台紙に、道の駅など対象施設24カ所すべてのスタンプを集めて応募すると、24名様に15,000円相当の特産品が当たります。この機会に空知を巡って、とおきのおいしさを当ててください。

そらち・デ・ビュー [検索](#) ▶地域政策課 ☎(0126)20-0036



スタンプラリー
専用サイト

留萌振興局 深川・留萌自動車道全線開通 カウントダウンキャンペーン2019実施中!



詳しくはホームページで!

2019年度内に全線開通予定の深川・留萌自動車道。その開通に向けたカウントダウンキャンペーンの目玉企画「デジタルスタンプラリー」は、留萌管内の道の駅や飲食店などが会場となり、そこにあるQRコードをスマホなどで読み取るだけで参加できます。さらに会場では「ご当地キャラカード」も配布中。このほか、みんなで歩く開通直前お披露目イベントも開催予定です。ぜひご参加ください。

よくばりスタンプラリー [検索](#) ▶地域政策課 ☎(0164) 42-8421

ほっかいどう 未来への 元気遺産!

北海道を元気にする、人・もの・アイデアを紹介します。

山菜の活用編

捨てられるフキの皮を原料とした 和紙「富貴紙」を地域の特産品に

釧路市音別町行政センター／釧路市



富貴紙製造の様子



富貴紙製の名刺や扇子など

富貴紙は、釧路市音別地域に群生するフキの皮を原料とした日本唯一の和紙。山菜加工場で廃棄されるフキの皮の有効利用を目的に1991年に開発されたもので、パリッとした感触と緑色の風合いが特徴です。

一時本格的な生産は中止され、地元の小中学校の卒業証書用に少量作られているだけでしたが、地域の特産品として売り出そうと市が技術者の育成に取り組み、2年前、生産販売を再開しました。現在、3人の職人(市の臨時職員)が紙をすき、市内2店舗で原紙や製品を販売。また、体験講習会を開くなど、富貴紙の普及や技術継承に精力的です。

1枚ずつ違う風合いを
多くの人に広めたい。



富貴紙製作技術補助員
アバラゼデ・ソヨルマーさん

私はモンゴル出身ですが、以前から和紙に興味があり、2年前から富貴紙製造に関わるようになりました。フキの皮に粘り気があるとうまいかず、原料の状態によって作業の加減も変わるので難しい。だからこそ、うまくできた日はうれしい。1枚ずつ風合いが違う富貴紙の魅力をもっと多くの人に広めたいです。

▶お問い合わせ 釧路市音別町行政センター地域振興課 ☎(01547)6-2231

まさかはずやってくる 防災ガイド

防災・災害情報は
北海道 危機対策
検索

山岳遭難を防ぎましょう

十分な準備で安全な登山を!

北海道の山々は雄大な自然が魅力的である一方、緯度が高いことから気温が低く、標高2,000m級の山の気候は本州の3,000m級の山に匹敵するともいわれており、十分な準備が必要です。

次のことを守り、安全に登山を楽しみましょう。

●力量に応じた山を選ぶ

難易度と自分の力量に応じた山を選びましょう。

●登山計画書を作成・提出する

登山計画書を作成することで登山ルートや必要な装備を確認できるほか、提出することで万一遭難した際の救助活動がスムーズになります。

●天気予報を確認する

山の天気は変わりやすいので、入山前には必ず天気予報を確認しましょう。

●装備品を準備する

万に備え、防寒着、ホイッスル、ヘッドライト、ハンディGPS、携帯電話などを持参しましょう。

▶道警本部地域企画課 ☎(011)251-0110



知りたい! アイヌ文化

さまざまなアイヌの
伝統や風習、情報
などを発信します。

ウポポイ以外の
アイヌ文化関連
施設も紹介

あなたのまちのアイヌ文化にふれてみよう。

北海道には、先住民族であるアイヌの人たちが育んできた文化があり、北の大自然との関わりの中から生まれた独自の文化が道内各地に伝えられてきました。

「川村カチトアイヌ記念館」(旭川市)、「二風谷アイヌ文化博物館」(平取町)、「サッポロピリカコタン」(札幌市)、「阿寒湖アイヌシアターイコロ」(釧路市)などでは、アイヌ古式舞踊や刺しゅう、ムックリ制作・演奏など、さまざまな体験ができ、アイヌ文化を気軽に楽しめる施設となっています。施設によって体験できる内容は異なりますので、詳しくは、右下のホームページまたは各施設のページをご覧ください。



川村カチトアイヌ記念館

アイヌ文化関連施設 検索

おいしい! 道産品プレゼント!

抽選で
30名様

(株)ホッカイドウプロダクツの大人も一緒に食べられる無添加ベビーフード「ホッカイドウメイドベビーポタージュ」(とうもろこし)をプレゼント!
(この商品は、北のハイグレード食品S 2019に選ばれました。)

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

さまざまなアイヌ文化の中で、あなたが特に興味をもっているものは?

- ①アイヌ古式舞踊 ②アイヌ音楽 ③アイヌ語
④アイヌ料理 ⑤刺しゅうや木彫りなどの民芸品

●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。
当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

●応募期限: 8月30日(金)必着 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。
●応募先 ハガキ ☎060-8588(住所不要)
北海道広報広聴課「おいしい道産品プレゼント!」係
パソコン 広報紙ほっかいどう 検索

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。※3月号のプレゼントには、3,883件の応募をいただきました。



製造者: 滝上産業(株)
デザイン: 寺島デザイン制作室

携帯サイト



北海道の人口	総人口	男	女
令和元年5月末	5,281,297人	2,494,063人	2,787,234人
前年同月比	36,369減	17,499減	18,870減

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ 9月号は8月21日(水)に配布開始の予定です。



みんなの文字

この広報紙は環境に優しい植物性インキを使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課 ☎060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 ☎(011)204-5110 FAX(011)232-3796

広告

この時季の 健康管理に、 ＼ヤクルト。／



Newヤクルト [65ml] 40円 Newヤクルトカロリーハーフ [65ml] 40円
ヤクルト400 [80ml] 80円 ヤクルト400LT [80ml] 80円

※価格はメーカー希望小売価格(税別)です。※ヤクルト400とヤクルト400LTはヤクルトレディがお届けしています。



※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。

【商品に関するお問い合わせ】ヤクルトお客さま相談センター ☎0120-11-8960 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・夏季休業・年末年始を除く)

人も地球も健康に
Yakult